

第4回人道の港敦賀ムゼウム機能拡充検討部会 議事要旨

- 導入の無料展示では、きちんと有料展示ゾーンの内容を伝えて欲しい。資料が増えて展示スペースが不足するようであれば、定期的に入れ替えて見応えがあるようにしてほしい。
- 料金設定の検討に際しては、年間利用者数の設定や、収支も詰めた方がよい。回遊性、経済の活性化につながるように。グッズの商品化等も視野に入れる。
- 回遊性に関しては、みなと館から先の歩道があまり整備されていないことに留意する必要がある。当時の風呂屋は単なる住宅地になってしまっている等、見どころにも乏しいので、複数ルートを作っても良いのではないか。
- 無料展示は、主に観光者対象のプランだが、市民が気軽に訪れることも大切に扱って欲しい。
- 一つの空間に色んなテーマが混在すると頭の切り替えができないのではないか。ゾーンが分かれていた方が説明もしやすい。
- 企画展で取り上げるテーマは幅を広げると良いのではないか。団体客がじっくり初見で観て、興味を持ってもらい、個人でまた来てじっくり見てもらえるようになればリピーター対策にもなる。
- 機能構成の2案については、ムゼウム部会としてはA案が良いという意見であるが、機能構成はB案の方が連続性を出しやすいため、無料展示から有料展示への導きをうまくできるようにしてこの先を知りたくなるような仕掛けをして欲しい。

第4回鉄道遺産等保存活用検討部会

議事要旨

- 県内にあるSLを専門家に見てもらったが、敦賀のC58は動力源を圧縮空気にすれば動かせるのではということであった。走らせるには地元の協力が必要。
- 潮風が強い場所であり、点検も必要なことから動態展示のためには機関庫の設置が必要。何両保管するかは議論が必要だが、扇形機関庫なら将来的にも増設できる。
- 子どもたちには5インチ軌道の乗れるミニSLが人気。ファンは全国にいるので、そういった方々にも敦賀に来てもらえるようにしたい。
- 面と捉えて回遊性を高めると敦賀市の特色が出てくるか。家族で街を回ってもらえるように、面整備をぜひ進めて欲しい。
- 福井県の提案は、転車台ではなく、敷地全体をぐるっと回るようにできないのか。港線で敦賀駅までいければ理想的。
- 太陽光パネルは景観を阻害するので、カモフラージュできないか。
- C58の他にキハ28も視野に入れてはどうか。まずは2~3台は欲しい。
- ターゲット、どこを狙っているか見えない。
- 金ヶ崎周辺地区にも何か象徴的なアイコンが欲しい。全国から人を呼ぶとしたら、これがあるから来たいんだ、と思わせるアイコンがないといけない。
- 舞鶴では旧引き込み線を遊歩道で有効活用している。専用区間として何かを走らせることは可能。
- 遊歩道にするなら数名で乗れる自転車でサイクリングできる専用区間も良いのではないか。
- ターゲットに関しては、敦賀市が誰を呼ぶのか見えていないが、魅力ある施設を作るからそこから見えて来るものもあるので、双方から考えていく必要がある。
- SLにどう乗っていただくか、走らせる区域を決めて検討していくと同時に、周辺地区の動線は検討していく。また、遺産とフェイクを明確にし、見せ方の工夫が必要。
- 商業施設、飲食機能が見えない。民間を誘致するなら早めに。商業機能が無いと滞在時間が少なくなる。赤レンガだけでは既に足りていないので、計画の中にきちんと入れておく必要がある。